

第 63 期第 6 回青年委員会（持ち回り）議事録

1 開催日時 令和 5 年 6 月 15 日（木）から 6 月 30 日（金）までの間

2 開催場所 中央書記局、各地区本部書記局（メール持ち回り）

3 出席者

[青年委員長]

小林佑太朗

[副青年委員長]

島中翔、呉屋堯歩

[書記長]

嶋村剣汰

[執行委員]

佐藤大悟、松本琉寿、正垣峻、西原夕夏、古川遼

[中執（青年担当）]

村岡和弥（中央書記次長）

4 議題

- (1) J C U セミナー評価反省
- (2) 青年委員会アンケート内容の検討
- (3) 青年委員会総会準備
- (4) 来期青年委員会メンバーについて
- (5) その他

5 議事内容

(1) J C U セミナー評価反省

・バス乗車時の受付後は、速やかに乗車させる（バス前に集団でいると、周りにも迷惑であり、初めての参加者にも印象が良くないため）。

・バスレク開始前に自己紹介を兼ねて意気込みを言う機会を設けた。バスの中で行う方法としては一定の効果があったものの、顔を合わせながらできないため、顔と名前を一致させることができ難かったと思う。来期は、集合時間をコロナ前に戻すなどして少し早めに会場に到着するようにし、会場到着後にバスレクとは別に自己紹介を兼ねたアイスブレーキングができればより良いと思われる。

・バスレクの「絵伝言ゲーム」は盛り上がった。使用したスケッチブックを二次会で配布したところ、それぞれの描いた絵を見ながら盛り上がったので有効だった。全問正解で延長に延長したので、問題はもう少し差ができるものがよかったです。当直明けの人も来ていたの

で、眠い人のために少し空き時間を作つてあげれたらよかつた。

・ねんきん定期便セミナーは好評であった。役員は事前にデモで聞いていたので、参加者を前に座らせて、役員を後ろに座らせてもよかつた。

・全体写真撮影は、1日目に富士研修所で富士山をバックに写真を撮る予定だったが、曇りで見えなかつたので、2日目にも集合写真を撮つた。セミナーの最初と最後に撮ることで参加者の表情の変化からいいセミナーになったと感じられるので良かった。1日目の全体写真撮影の集合時間が直前の学習会が押した関係でタイトとなり、間に合わない人がいたのでもう少し余裕をみてスケジュールした方がよい。

・B B Qの後片付けがないのは楽だった。途中で盛り上げるために、火起こし・焚火体験の順位発表と代表者コメント、優勝景品授与を行つたが、聞いていない人も多かったので開始直後で終わらせるか検討の余地あり。

・二次会用のお酒の量は適量だった。女性用やアルコールが弱い人用にワイン、ソフトドリンク、水を準備していれば尚良かった。

・樹海ウォークラリーは1日プランもあるが、「疲れた」との意見も一部あったことから、次回行うにしても今回と同じ半日（3時間程度）で十分と思われる。ミネラルウォーターを事務方で準備して強制的に持たせたのは良かった。ただ、足りない人もいると思うのでウォークラリー中に寄れる自販機の場所を案内できればよかつた。

・帰りのバスは疲れている人もいるので軽く映画を流すくらいで丁度よかつた。バスの入口付近にごみ袋を用意してもよかつた。バス会社に処分を依頼すると処分費用がかかるので、帰りのSAで回収したごみを捨てるか、ごみ袋は用意せずに、帰りのSAで各自捨てるように案内するか要検討。

・参加者アンケートの「8 こんなセミナーがあったら受けてみたい！と思うものはありますか？」という設問は一部こちらの意図する回答ではなかつたので、来期はもう少し分かりやすく「どのような話をセミナーで聞いてみたいですか？」などの聞き方にする。

・役員アンケートも帰りのバス内で入力できるように事前準備したほうがよい（次の青年委員会での評価反省だと間隔が空いて忘れてしまう）。

・役割分担は問題なかつたが、バスレクなど担当によっては向き不向きがあるので、来期も決めるときは適材適所に注意する。

・J C Uシャツは参加者に事前にサイズ確認してもよかつた。来期以降に作成する場合は要検討。

・動員にあたつては、男女バランスをもう少し考慮する。

・開催時期について、今回は施設の空き状況的にこの日しか空いておらず、サミットと重なつたため動員に苦慮したが、来期からは5月中下旬開催で問題ないと思う（メリット：4月は夜が寒く、5月が気候的にちょうどよい。4月の人事異動を心配しながら参加者募集しなくてよい。中央書記次長が3月の附帯行動や4月の中央委員会が終わった後に準備できるので楽）。

(2) 青年委員会アンケート内容の検討

- ・問3⑤について、内容が理解しづらく、回答者によって回答の意味が異なってしまう虞があることから、以下のとおり修正した。

修正前)

発令日の1ヵ月以上前に勤務地域が判明し、引越準備や民間賃貸解約などに対応できるように取り組んでいます。「①内示を発令日の1ヵ月以上前」と「②事前通知（内示前に事前に遠隔異動の通知）を発令日の1ヵ月以上前」だとどちらを望みますか？

修正後)

発令日の1ヵ月以上前に勤務地域が判明し、引越準備や民間賃貸解約などに対応できるように取り組んでいます。「①内示を発令日の1ヵ月以上前」と「②具体的な勤務地域が分かる事前通知（内示前に事前に遠隔異動の通知）を発令日の1ヵ月以上前」だとどちらを望みますか？

(3) 青年委員会総会準備

ア 開催方法及び開催日時

- ・集合開催で進めていくこととした。
- ・親の定期大会の日時が決まり次第検討。後日、村岡書記次長から連絡。

イ レセプション

- ・コロナ対策により今期は行わないこととした。

ウ 代表者数

- ・コロナ前の定数で決定した。ただし、函館地区本部については、コロナの状況から2名の選出は難しいとの意見があり、今回に限り2名から1名とした。以下の定数を次回の中央執行委員会で提案し承認を得ることとした。

函館1、東京5、横浜3、名古屋3、大阪2、神戸3、門司2、長崎2、沖縄2

計23名

- ・来期は各地区本部の現状に即して代表者定数を検討していくこととした。

（代表者の選出）※規約抜粋

第11条 代表者の定数は、青年委員会が決定し、中央執行委員会の承認を得なければならない。

2 代表者は、地区本部青年部委員会が選出する。

エ スローガン

- ・8年前から変わっておらず、コロナの感染上の分類が5類となり、来期は本格的に青年の活動を再開していくこうという年になると思われる所以変更を検討していくこととした。次回の第7回青年委員会までに各自検討を行い、次回委員会で決定することとした。

才 議長、総会宣言の担当

- ・過去の議長、総会宣言の担当記録も参考にしながら、以下のとおり決定した。

議 長：長崎、沖縄

総会宣言：東京

才 議案書

- ・議案書（活動経過報告、活動記録、活動方針案）については、村岡書記次長が案を作成し、青年委員会メンバーからメールで意見聴取することとした。

(4) 来期青年委員会メンバーについて

現状、以下のとおり。まだ、来期のメンバーが全員で揃っていないことから、来期青年三役については、次回の第7回青年委員会で決定することとした。

函 館：欠席のため確認できず

東 京：継続予定

横 浜：未定

名古屋：交代予定（後任が見つかなければ継続）

大 阪：未定（後任が異動するか次第）

神 戸：欠席のため確認できず

門 司：交代予定（青年卒業のため）

長 崎：欠席のため確認できず

沖 縄：欠席のため確認できず

(5) その他

- ・特になし。

以上